

青年部

青年部通常総会開催

青年部（天野晃明会長）第37回通常総会が開催されました。

- 日 時：令和5年4月20日（木）午後4時
- 会 場：THE CONDER HOUSE 名古屋
THE LIVING ROOM (3F)
- 出席数：44社（会場 31社、委任状出席 13社）
／ 会員数 59社

青年部総会は富田康祐副幹事の司会・進行のもと始まり、開会の辞を松永 宰副会長が述べ、天野会長は開会の挨拶で「当青年部は規約にある通り、会員の研修と相互の連携を強め、より良い経営者と指導者を育成し協会の発展に寄与することを目的としています。しかしこの数年、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から様々な自粛を強いられてまいりました。令和4年度に入り徐々に規制緩和されたこともあり、皆様のご支援とご協力を賜り充実した事業を展開できたと感じております。また、本日は久しぶりの集合形式の総会となり、来賓に会長永井良一氏、専務理事堀部隆司氏がご臨席くださりありがとうございます。」と述べました。

来賓の挨拶で永井会長は「青年部はコロナ禍であった時でも、いろいろな活動をされていたと聞きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。私は青年部のチャーターメンバーであったことから、青年部に期待することは、青年部は我々の業界を担う次の世代の方々ばかりなので、日々そのことを念頭に置いて活動をして欲しいです。我々が青年部を作った時は、何から始めていいのか分からなかったもので、まず最初は友好からでした。交流を通じて本音で話し、ぶつかり合い、いろいろなことを経験しました。先ほど挨拶をされた天野会長は今期で二年目に入られるとのことですので、今後の活動に期待致します。」と述べました。

次に堀部専務理事は来賓の挨拶で「令和4年度の協会の活動状況につきましては、コロナ禍ではありましたが、中止となった事業は視察研修のみで、他



の事業は開催することができました。また、プラ新法などが施行されましたので、新しい取組が全国で行われています。他にも従来からあるいろいろな問題、少子高齢化による労働者不足、DX問題、温暖化対策などいろいろな問題に対処しないと我々の業界は生き残れません。青年部の皆さんの柔軟な思考とバイタリティで、新しい観点の事業を計画していただき、尚且つ、愛産協を盛り立てていただければと思っています。」と述べました。

議事の審議では、規約に従い天野会長が指名された宮下雄一郎副会長が議長となり議案審議が始まりました。各議案の説明があり、全ての議案は承認され総会は終了しました。

その後、青年部を卒業される（株）考和の岡崎博紀氏と（有）豊クリーンの栗須誠氏が紹介され、代表で岡崎氏は「50歳になりましたので青年部を退会することとなりました。私は40歳の時にご縁があり愛知県青年部に入会し、あっという間の10年でした。各事業及び視察研修にも参加させていただき、多くの方と人脈をつなぐことができました。来年の広島のカンファレンスで私は実行委員長を務めますので、今後もいろいろな形で愛知県青年部との交流はつながっていくと思います。」と卒業の挨拶をされました。

- 第一号議案 令和4年度事業報告、貸借対照表、収支決算書及び剰余金処理承認
- 第二号議案 規約改定承認
- 第三号議案 年会費承認
- 第四号議案 令和5年度事業計画及び事業収支予算書承認



司会進行の
富田幹事



開会の辞を述べる
松永副会長



挨拶をする
天野会長



挨拶をする
永井会長



挨拶をする
堀部専務理事



議長の
宮下副会長

令和5年度事業計画

1. 活動方針「交流」

2. 前年度の総括と活動計画

天野会長より「青年部規約第1条には、『この青年部は、一般社団法人愛知県産業資源循環協会の次代を背負う若きリーダーを中心として組織し、協会の健全なる発展を図ると共に、企業の合理化、近代化及び高度化を推進するために、会員の研修と相互の連携を強め、より良い経営者、指導者をつくることを目的とする。』と記されています。

昨年度は上記規約の理念を達成するために土台となる交流を強く推し進めてまいりました。

各委員長、及び役員の皆様は積極的に活動され充実した交流を、年間を通して行えたのではないかと思います。

それぞれの事情の中で、青年部の活動に参加しやすい方やにくい方がおられます。各々の事情を随時考慮しながら様々なアプローチを仕掛けていき、時には新型コロナウイルス感染症の感染拡大により交流会の中止を余儀なくされたこともありました。事業と非事業合わせて、役員会及び委員長から発信した全員が参加可能な集会は計8回となります。

昨年度、魅力的な事業を企画していただき成功へ導いていただきました各委員長には、本年度も大勢のメンバーが集まれるような事業を計画していただきたいと思います。

皆様ご存じの通り、今年度の事業は皆様からのテーマの提案及び予算立てをしていただいております。

また、各委員会の名称は変更ありません。活動内容は制限されることがない自由度の高いものです。皆様からの魅力あふれる事業を期待しております。

役員会担当では本年も年末に懇親会を企画する予定です。

加えて、随時任意で参加可能な食事会の場の提供も続けてまいります。『なにも交流する機会がない月』のゼロを目指します。」と業界の将来を担う責任と

明るく開かれた青年部の運営を目指す総括及び活動計画が述べられました。

3. 事業計画

・会員活性化委員会

委員長：渥美 和男 副委員長：富田 康祐

会員活性化委員会では個人間での交流を重視した委員会とし、対企業の枠を越えた個人間の距離を縮めることを目的とします。

・教育情報委員会

委員長：伊藤 彰英 副委員長：遠山 大樹

教育情報委員会では企業間の情報交換を重視した委員会とし、企業間の情報をお互いにより共有できることを目的とします。

・年末懇親会準備委員会

委員長：天野晃明 メンバー：役員会

年末懇親会準備委員会では年末の懇親会を企画、運営をいたします。

◎年間スケジュール

4月：第37回通常総会

5月：中部ブロック総会（5/26 岐阜県）

6月：教育情報委員会全体会議

全産連通常総会（6/15 東京都）

7月：中部ブロック事業（三重県担当）

9月：会員活性化委員会全体会議

10月：全国大会（10/27 沖縄県）

11月：教育情報委員会全体会議

12月：年末懇親会

令和6/ 1月：中部ブロック事業（愛知県担当）

3月：会員活性化委員会全体会議

